

平成19年度事業実績の概要

センター・プロジェクト名：福祉サービスとマンパワーに関する国際比較（リーダー：埋橋孝文）

プロジェクト発足初年度の大きな目的は、プロジェクトの研究課題を明確にすることであった。そのため、共通の認識を得るために次のような基本的文献の検討をおこなった（参加院生8名それぞれが1冊を担当の予定）。

- 1) 秋山智久『社会福祉専門職の研究』ミネルヴァ書房（2007. 12. 9）
- 2) 坂田周一『社会福祉における資源配分の研究』有斐閣（2008. 3. 6）
- 3) 宮垣 元『ヒューマン・サービスと信頼？ 福祉 NPO の理論と実証』慶大出版会（2008. 3. 24）

また、ゲスト・スピーカーに話をしてもらい、首題についての関心を強めた。

- 1) 韓 東希（老人生活科学研究所，大邱カトリック大学）「韓国におけるサイバ一家族の試みについて」（2007. 11. 16）
- 2) 野口典子（中京大学）「福祉専門職養成とその課題」（2007. 12. 9）
- 3) 宇治郷毅（同志社大学）「同志社で学んだ留学生たち」（2008. 3. 6）

以上のようなプロジェクトでの検討を重ねるなか、今後、次のような分担グループ別に検討をすすめることになった。

- 1) 福祉サービスと財政に関する日韓比較（OECD 統計ほかを利用して）
- 2) マンパワーと資格・専門職制度に関する日韓比較
- 3) NPO, NGO に関する日韓比較
- 4) 中国，ネパールそれぞれにおける福祉サービスとマンパワー

平成20年度事業の計画概要

春期に以下の文献を検討する予定。

- 1) 広井良典・沈潔編著『中国の社会保障改革と日本：アジア福祉ネットワークの構築に向けて』ミネルヴァ書房
- 2) 染谷淑子『福祉労働とキャリア形成』ミネルヴァ書房
- 3) 佐橋克彦『福祉サービスの準市場化－保育・介護・支援費制度の比較から』ミネルヴァ書房

その後、上の4グループごとに順次報告を重ねる（夏期に研究合宿を予定）。

年度後半（～平成21年度）にグループ2），3）は日韓両国でアンケート調査を行う予定である。

プロジェクト研究の中間報告として以下の雑誌にプロジェクト参加院生が共同執筆の予定。

社団法人国際経済労働研究所『イントレコウク』（国際経済労働研究）11・12月合併号
論文タイトル「福祉サービスとマンパワーに関する日韓比較－（中間報告）」（仮）